

## 第3回こども急性疾患学寄附講座(神戸市)公開講座

# 「こどもたちの命を守るために」

2010年12月11日の講座内でご紹介した情報のURLを添付しております。

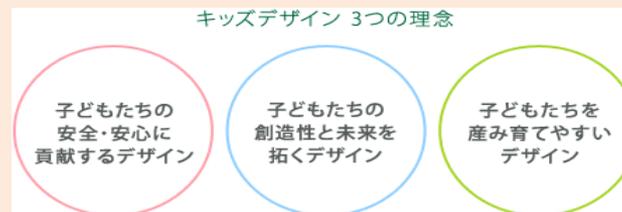
SIDS(シズ)家族の会

<http://www.sids.gr.jp/>



キッズデザイン

<http://www.kidsdesign.jp/kidsdesign/>



・子どもの事故(くらしの危険:屋外遊具での事故・浴槽用浮き輪で溺れる事故)

[http://www.kokusen.go.jp/soudan\\_now/data/kodomo\\_jiko.html](http://www.kokusen.go.jp/soudan_now/data/kodomo_jiko.html)

# くらしの危険 265

## 屋外遊具での事故

国民生活センター危険情報システムには  
屋外型固定遊具(以下、遊具)による事故情報が寄せられています。  
多くは軽微ですが、なかには重い、症状のものもあり、  
事故の原因は遊具側に向かか  
問題があったもの、  
子どもの遊び方に問題が  
あったものなどさまざまです。

### 10歳未満、男の子に多い

1997年度～2012年度に国民生活センターに寄せられた、遊具に関する事故情報は1768件でした。  
10歳未満の子どもの割合は8割以上を占めており、平均年齢は6歳です。男女比はほぼ同等で、事故原因はほとんどの場合で男の子が女子を上回りました。

### 頭のけがが最多、腕・手のけがは骨折が多い

けがのうち最も多いのは打撲(43.1%)です。次に骨折(13.8%)です。けがをした部位は頭(13.2件、25.5%)が最も多く、次いで、腕・手が23件(11.2%)です。  
頭、腕、腕はけがの部位が1位でしたが、腕・手はけがの部位が2位でした。

#### ●表：グループ別みた事故の特徴

遊具	グループ1	グループ2
遊具の構造	うんてい、シーソー	鉄柵、フリスビー、鉄棒、ジャンプ台、滑り台、ブランコ、鉄棒、鉄柵
けがの発生	腕・手のけがが多い	腕・手のけがが多い
けがの場所	グループ1に比べて腕・手のけがの割合が高い	グループ1に比べて腕・手のけがの割合が高い
けがの部位	グループ1に比べて腕・手のけがの割合が高い	グループ1に比べて腕・手のけがの割合が高い
平均年齢	最も若い平均年齢が高い	最も若い平均年齢が高い

※グループ1はグループ1に該当する遊具、グループ2はグループ1に該当しない遊具の事故情報(グループ1はなし)



### うんていやシーソーは年齢が低い子ほど重いけが

すべての504件のけがも多く、次いでブランコ65件うち、簡易ブランコとわかるもの21件、鉄柵22件、ジャンプ台182件で、うんてい、シーソー、アスレチック遊具、回転台と続きます。  
遊具1口ごとの程度、内容、部位、平均年齢はほぼ同等であり、グループ1とグループ2の区別に分類することができませんでした(表)。

PDF版

## こんなことに気を配りましょう

- 1 意欲的な遊びは子どもが成長するのに大切なものです。遊具による興奮や冒険など意欲的な遊びは、危険を予知したり避けたりといったことを学習する機会となります。これらの機会が子どもの成長にとって必要なものであることも知っておきましょう。重大な事故につながる危険性(バード)は除去した上で、小さな危険を伴う冒険や挑戦は許容することも大切です。
- 2 子どもの成長に伴った注意をしましょう。指針によれば、遊具で遊ぶ際に保護者の見守りによる安全確保が必要で、常時保護者等とともに利用することとし、おおむね6歳以上小学校就学前の幼児は保護者が同伴することを前提としています。また、事故情報によるとうんてい、シーソーなどは年齢の低い子どももよく遊んでいて、保護者や関係の大人が十分に気を配る必要があります。一方、年齢が上がるにつれて遊具に小学校就学前の幼児に対する意識も重視し、自らの危険性を教えることが必要です。
- 3 不適切な行動や使用に注意をしましょう。保護者や関係の大人が遊具を適切に使用している遊具に、劣化した場合は、自治体や学校などの責任をもち、遊具や遊び場の注意表示や遊具や遊び場を利用対象年齢や遊具の設置場所を適切に示し、正しい遊び方をさせるとともに、遊具の点検や点検結果の公表も重要です。



### 自治体・事業者への要望

指針に基づき、見守りも参考にしてください。



# くらしの危険 280

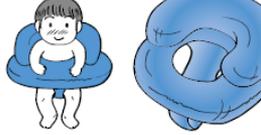
## 浴槽用浮き輪で溺れる事故

小児科の医師より、浴槽用浮き輪で乳幼児が溺れる事故が起きているとの情報が国民生活センターに寄せられました。

浴槽用浮き輪を使用したことによる乳幼児の溺水事故を経験した。浴槽に浮かべて入浴させるもので、保護者が先にお風呂から出て身体をふいたり、着衣したりしている間に乳幼児が浮き輪ごと転倒し、保護者が戻ったときに浴槽内で完全にさかさまの状態になっていた。インターネットなどでは、親が手を離しても一人で浴槽につかってくれていて便利などと、便利な面ばかり強調されているようだが、危険性はほとんど認識されていない。注意喚起が必要だと思ふ。

### 浴槽用浮き輪とは

浴槽にすっぽり入る大きさ(約50cm×約50cm)の円形、浮き輪の周りにフリスビーのネットが取り付けられており、ネットを巻いてお風呂に浮かべることが出来ます。頭がネットのフリスビーのネットに引っかかると、溺れる危険があります。また、ネットが破れてお風呂の水が漏れ、滑りやすくなります。また、ネットが破れてお風呂の水が漏れ、滑りやすくなります。また、ネットが破れてお風呂の水が漏れ、滑りやすくなります。



PDF版

## こんな事故が起きています

### 洗髪や洗顔をしていた

8ヶ月の子どもの一人、洗面台に顔を洗っていた。髪が濡れた状態で浴槽に落ちてしまった。髪が濡れた状態で浴槽に落ちてしまった。髪が濡れた状態で浴槽に落ちてしまった。



### 兄弟に服を着せていた

1歳6ヶ月の息子を浴槽に一人で遊ばせていた。髪が濡れた状態で浴槽に落ちてしまった。髪が濡れた状態で浴槽に落ちてしまった。髪が濡れた状態で浴槽に落ちてしまった。

### 植物状態になってしまった

10ヶ月の男児が浴槽用浮き輪に落ちて溺れた。溺れた状態で浴槽に落ちてしまった。溺れた状態で浴槽に落ちてしまった。



ライター火遊び事故から、子どもを守りましょう。

子どもを守る、ライター4か条

ライター安全大使館

<http://www.jsaca.or.jp/lighter/lighter4/index.html>

頭部外傷の特徴

・小児の頭部外傷の実態とその予防対策

[http://www.kokusen.go.jp/news/data/a\\_W\\_NEWS\\_066.html](http://www.kokusen.go.jp/news/data/a_W_NEWS_066.html)

飲み込んでしまったら・・・(誤飲)

#8000 平日・土曜18-24時

日曜・祝日 9-24時

中毒110番

大阪中毒110番 072-727-2499 24時間

つくば中毒110番 029-852-9999 9-21時

タバコ専用電話 072-726-9922 24時間

